

LTFSが引き出すビッグファイルデータ向け テープの魅力

リニアテープファイルシステム (LTFS) は、LTOテープのプラットフォーム間の互換性を策定するLTOコンソーシアムによって開発された、ファイル識別機能を持つオープンフォーマットだ。テープ1巻ごとに、インデックスパーティションを設けることで、LTFSではテープ(リニア方式の媒体)上のファイルを、まるでディスクのように、いつでも検索できる。誤解のないように言うておくと、これらのファイルはあくまでテープが読み込みこまれてから、順次変換される。それでも、LTFSによってテープの「検索性」は大幅に向上する。また、1巻1巻のテープカートリッジの「自己記述性」が高くなるのもLTFSのメリットだ。テープに保存されたファイルを、一般のアーカイブソフトウェアや、ファイルを最初に作成するときに使われたソフトウェアやプラットフォームが介在しなくても表示できるからだ。